

KOBE YMCA NEWS

神戸青年 No.626

2013.11・12 Nov.・Dec.

発行所 日本YMCA同盟 東京都新宿区本塩町7
THE YMCA神戸版 発行人/水野 雄二 編集人/櫻井 英治
神戸YMCA 〒650-0001 神戸市中央区加納町2-7-15
TEL. 078-241-7201 FAX. 078-241-7479
URL <http://www.kobeymca.org> 印刷/わかばやし印刷



神戸YMCA
年間聖句

喜ぶ人と共に喜び、
泣く人と共に泣きなさい。
(ローマの信徒への手紙12:15)

全国リーダー研修会に参加して

10月12日～14日、京都市野外活動施設「花背山の家」において「第44回全国YMCAリーダー研修会」が開催されました。わたしはこのリーダー研修会に参加し、たくさんのリーダーに出会うことができました。それぞれのリーダーが、様々な考えをもち、悩みながら活動を行っている、ということを感じました。



交流会では、全国各地のYMCAの特色を知ることができ、楽しい時間を過ごすとともに、自分の所属しているYMCAの魅力、住んでいる土地の魅力を改めて感じることができました。また、全国のリーダーがどのようなきっかけで、YMCAで活動するようになったかなど、今まで知らなかったリーダーたちの話を聞くことができました。

研修会では、ボランティアをしていく中で感じていることを話し、自分を見つめなおす時間を持つことができました。また、改めて自分と向き合うことの難しさを知りました。そして、相手の意見を受け入れることで、知識や、視野が広がり、考えを共有することの大切さを学び、また、これからもリーダー活動を行っていくため、研修会で学んだことを活かしつつ、子どもたちとともに、成長し続けることのできるリーダーでありたいと思いました。

今回のように、同年代のリーダー達と出会い、知らなかったことを、教えあい、様々なリーダーと共有していくことは、リーダー活動を行う中で、いい刺激になりました。これからも、この全国リーダー研修会で得たつながりを大切にしていきたいと思えます。

今回はこのような機会を与えていただき、ありがとうございました。
(三田YMCAボランティアリーダー3回生 吉川洋子)

学園都市会館25周年を迎えて

1988年、神戸市西区学園都市に会館が与えられて今年25年目を迎えました。若い世代、働き盛りの世代によって築かれた町も、25年ですいぶん様変わりしてきたように思います。常に地域の発展と共にあったYMCAも、その活動は大きく変わってきました。設立時からしばらくは専門学校、予備校高校生科、大人のフィットネスが活動の中心でしたが、地域のニーズの変化に伴い、また神戸YMCAの活動構造の変化に伴って、ここ数年はずいぶん幼少年とその保護者の姿が会館に多くなっています。かたや地域の高齢化も着実に進んでいます。ウエルネスでは高齢者の健康増進のためのプログラムも多く見受けられます。また地域活動にも幅広く参画するようになって来ました。

今まで何をしてきたのかと成果を考えると、人は意識、無意識に関わらず傲慢になる気がします。何をしてきたかではなく、これからの私たちがこの地域に対して何ができるのか、何をさせていただけるのかを謙虚に考えていきたいと思えます。

聖書に「それぞれが賜物を受けているのですから、神のさまざまな恵みの良い管理者として、その賜物を用いて、互いに仕え合いなさい。」という箇所があります。私たちは神様から与えられた素晴らしい賜物を持っています。それに気づき、惜しみなく使って、みんなのいのちが光り輝くことを願って、これからも地域に生き続けたいと思えます。



学園夏祭りでの健康相談コーナーの様子

神戸YMCA福祉会は今年25周年を迎えました

社会福祉法人神戸YMCA福祉会は今年25周年を迎え、この度、記念誌とレシピ集を作成しました。

記念誌は、神戸YMCA長田ランチで1964年に開始された学童保育教室や、1970年に設置された財団法人立の西神戸YMCA保育園からの歴史を振り返り、そしてこれから未来へと続くYMCAの保育ミッションを再確認する内容となっています。

レシピ集は、保育園の食事やおやつ作り方を合計68品目収録しています。とてもヘルシーでおいしいメニューが盛りだくさんです。子どもたちの心とからだを支えることを大切に、「食育」という言葉が使われる以前から取り組んできた「YMCAの食文化」を味わっていただくことができます。

レシピ集は一部メニューを各YMCA保育園のホームページからもご覧いただけます。ぜひご家庭で保育園の味をお楽しみください。

社会福祉法人設立から25年、長田ランチでの保育の働きから50年。地域の中で生きる子どもたちが、子どもらしく生きること。そして家族や地域が緩やかに、そして時には強い結びつきで支え合い、子どもや若者が多様な生き方を選び、自信を持って生きていくことができる社会を目指します。神様から与えられた世界と身体を、この使命のために捧げ、仕えあうことを願い、次の100年へと歩んでいきたいと思えます。



<http://www.kobeymca.org/yymcahoikuen/info/pdf/11.pdf>

受賞

今年の春に共著で出版された「ミナト神戸の宗教とコミュニティー(のじぎく文庫)」が、第37回井植文化賞、報道出版部門賞を受賞しました。授賞式には著者のお一人である、山本俊正氏(関西学院大学教授、神戸YMCA国際委員)が出席されました。



障害者支援施設 施設長 山根 泉
清心ホーム

ふと、30年前の沼島キャンプの出来事思い出しました。夏のある日、突然暗雲が立ちこめ暴風雨となり、避難の為に不安なキャンパーとリーダーが暗く雨戸で閉ざされた食堂に集まりました。暫くすると、雨戸の間から明るい陽光が差し込み、外に出ると透き通るような青空には、今までに見たことがないような大きな虹が架かっていたのです。この時の子どもたちの顔は、忘れることができませぬ。神様が一緒にいて守ってくれたのかな?という、実感と素直な感謝の気持ちとその笑顔からこぼれていました。

今、眼の前にいる子どもたちの未来を描くこと、その実現のために力を注ぐこと、いざれ訪れる未来で共に喜びを分かち合えることが私の願いです。聖書にある種蒔きの譬えは、沢山蒔くだけではなく、土地を耕し栄養を与えて初めて多くの良い実を結ぶと記されています。YMCAがそして私たち大人が未来の子どもたちのために、今出来ることをしなさいというメッセージなのです。大きな虹の向こうには素敵な未来が拓かれています。

未来への提言

ボランティアリーダーを経て職員となり、35年間YMCAでお世話になりました。積み重ねた人生の約3分の2はYMCAの空気の中で育ってきたことになりました。おそらく私の生き方に大きな影響を及ぼしていることは間違いなく、自分では分かりにくく、生涯分らないだろうと感じています。

現在はYMCAを離れ、障害者支援施設で、主に知的障害を持った方々の施設入所支援の仕事に携わっています。60名のユニークな個性やこだわりを持った方々が、一つ屋根の下で生活を共にしていると、そこには日々凄くエネルギーが溢れ、喜怒哀楽が絶えませぬ。人々の傍らにそっと寄り添い、生活を支援する今の仕事の根源はYMCAでいつの間にか身についたのでしょう。

先日滋賀県にある止揚学園(障害者入所支援施設)を訪れる機会がありました。建物の独特の色使いや、食前食後の歌、食事が遅い人への心遣い、ゲストによる歌のプレゼント等、私にとってはとても心地よい時間となりました。何でも、同志社大学神学部学生の志によって50年前に始まった障害児キャンプが前史であるとのこと。道理で居心地が良かったはずでした。

ホテル学科50周年に寄せて③



ホテル ラ・スイート神戸ハーバーランド 小前 岳志

神戸YMCA学院専門学校ホテル学科の門が開かれ50年がたとうとしています。

これまで多くの卒業生を送り出すために、携っていた全ての皆様へ感謝申し上げます。

私も27年前に卒業し、夢と希望をもってホテル業界に飛び込みました。初めのうちは社会人になったという緊張感、お客様から見られているというプレッシャー、会得しなければならない知識、習得しなければならない技術等、月日が瞬く間に過ぎ去り、



そんな時、学校の職員の方々ははじめ色々な方に支えていただきその中で教を請い、お叱りを受け、お褒めいただきながら現在もホテルマンとして勤務いたしております。

在学中は色々な事を学びました。各方面のスペシャリストの方々からはその豊富な経験の中からこれからホテルという大舞台に立つ為に必要な知識、聞きなれない専門用語に戸惑いながら講義を受講していた時の事を思い出されます。しかし、仕事をしていく中で『あの時の話はこの事か!』と実感し自分の中で理解が深まりステップアップに役立っております。

また、冒険にもいたキャンプや課外授業では、クラスメートや同行していただいたリーダーの方々としてとても大切な時間を過ごす事ができました。専門的な知識や技術に偏るのではなく、人間性を磨くカリキュラムも含まれているのが本校の良さだと思っております。

ここ、神戸YMCA学院専門学校ホテル学科は、これまでに偉大な諸先輩方が数多く卒業されております。そしてこれからも、明日のホテル業界を担う人材を排出し続けていく事でしょう。諸先輩方をはじめ携わる全ての方々には 今後とも、夢と希望を持った卒業生を送り出すためにご尽力いただきますようお願い申し上げます。

最後になりましたが わが母校 神戸YMCA学院専門学校がこれからもますます発展しますよう

心よりお祈りいたしております。(小前さんは、1986年度の卒業生です)

台湾演奏旅行を終えて



私たちは8月3日から5日まで、2年に一度の台湾演奏旅行をおこないました。今回で4回目です。

高雄と台南の教会2ヶ所で、演奏と貴重な経験をさせていただきました。台湾の方は私たちを暖かく受け入れて下さり、熱心に聴いて下さいます。阿部望先生編曲のテレサ・テンの曲も演奏しました。ベルに合わせて歌って下さったり、演奏会の後ベルに興味を持ってさわりに来られたりと、率直に感動を伝えて下さいます。そんな方々に対し、練習通りに演奏もしようと思いましたが、緊張感で失敗してしまったりします。心をこめて演奏をし、聴いて下さっている方々に少しでもベルの魅力を感じ取っていただきたいと思っております。

各教会でコンサートの後、会食の時間を過ごし、現地の教会の方々やリンガーの方々との交流ができました。いずれの場所でも、もてなしの気持ちがあふれ、言葉は通じにくくても、簡単な英語や筆談で気持ちを伝え合い、わかり合おうとしました。年齢や国、環境の差はあれ、ハンドベルを通して、つながりあえたということが本当にすばしかったです。

日本語を話される方々と過去の出来事をお聞きし、人との交わりの大切さを感じました。今後もう一回機会を大切に、ベルを通して様々な国、年齢、環境の違った方々との交流を持ち、さらに輪を広げていければと思います。

私たちを歓迎し、気持ちよく演奏させていただけるのは、準備して下さる方々のおかげです。ご尽力いただいた阿部先生、現地の教会の方々、両国のYMCA関係者の方々に、心よりお礼を申し上げます。

(Ding Dong Ringers 永田知子)

1964年、日本に初めてハンドベルを響かせて、人々を魅了してくれたのが、台南の神学校のハンドベルチームでした。以降、日本ハンドベル界が発展する中、台湾の活動が見えないことが気がかりでしたが、2007年の訪台の際、台南で活動中の方々と連絡をとり交流を続けてきました。そしてついに3年前には、台湾ハンドベル協会の発足を見たことは嬉しい限りです。そして、今回は、その最初に日本を訪れたグループの内の一人のメンバー(黄徳成氏)にお会い出来た事も嬉しい事でした。しかも、この黄氏は、台南YMCAの前総幹事(総主事)でもあったと聞いて、又ビックリした次第です。

(指揮者:阿部 望)

Family Weekend Fall 2013 ご案内

秋の余島は、イベントがいっぱい! すべてが彩るこの季節。皆さん、余島へお越しください!!



◆Family Weekend 週末は家族でふらっと余島へ!◆

余島ファミリーウィークエンドは、週末を自然の中で過ごす至福のひと時を提供します。

11月の週末はイベントが目白押し。

皆さん、お気軽に余島へ遊びにきてください。お待ちしております!

オリーブWeekend 11/16-17 ※余島プロジェクト

オリーブウィークエンドは、いつもの余島の遊びに加えて、2日目に「オリーブ収穫体験ツアー」を企画しています。

小豆島名産のオリーブ。この時期はオリーブの実の収穫が大忙し!

まさに「猫の手も借りたい」1ヶ月。

無農薬でオリーブを栽培するオリーブ農園にお邪魔して、少しでもお手伝いをしたいと思います。

・オリーブ収穫体験ツアー 11月17日

午前中又は午後(所要時間2時間~3時間)

要予約 料金お一人1,500円

ダッチオープン&アートWeekend 11/9-10, 11/23-24

秋も深まる11月。食欲の秋を味わいましょう。野外調理の王道「ダッチオープン(通称:DO)」で作る料理は、簡単な料理でもひと味違います。

温かいご飯、じっくり煮込んだカレー、そしてスペシャル料理「ローストポーク」へ挑戦!熟練のスタッフがお教えします。

そして、紅葉も深まる秋の余島で、芸実作品に没頭しましょう! 使うのは彩る自然の産物。自分の好きなものを集めて、世界に一つだけの作品をつくります。

※すべての日程で余島ネイチャープログラムが楽しめます。

料金等詳細は、下記、余島のホームページへ

<http://www.kobeymca.org/yoshima/center/news/post900/>

お問合せ、お申し込みはお電話又はメールで。

担当: 阪田

☎0879-62-2241 ✉yoshima@kobeymca.org

幼稚園



幼稚園見学

幼稚園では2学期が始まり、4月に入園した子どもたちも幼稚園生活を楽しんでます。そんななか、2014年度の募集が9月10日より始まりました。未就園のお子さんを持つ保護者の方々が見学に来園し、「幼稚園ってどんなところですか?」と質問をされます。ここ数年「預かり保育はあるのか」「給食はあるのか」「保育料はいくら」等と、ハード面の質問が多くありますが、朝のコーナー遊びで園児が、自分から遊びを見つけ見学の方々を見向きもせず黙々と遊びに熱中し、友達と関わりながら遊ぶ姿を見て、見学の方は、「楽しんでますね」「真剣な顔ですね」「生き生きとしていますね」と感想を言ってくれます。「幼稚園で何をしてもらえるのか?」と受身の言葉が多かった見学の方も子どもたちの姿に「幼稚園って子どもたちが夢中になって遊ぶ場所なんだ」と子どもが主体となるのが大切だと気づかれていきます。様々な場面を見ていただきながら見学の方々の意識が変わっていくのは、案内する私たちの言葉ではなく、まさしく今ここにいる子どもたちの姿を通してです。幼稚園見学では子どもの普段の姿を見ていただきます。子どもたちが生き生きとした姿であることが何より大切であると同時にキリスト教保育の豊かさを少しでも感じていただくことも使命とし、今後のご案内していきます。

西神戸YMCA幼稚園



保育園



西宮つとがわYMCA保育園は、子育て支援の一環として、子育て相談、園庭開放の他に月に一回、地域の未就園児さんを対象に「Yわいタイム」というプログラムを行っています。

まだ園庭で遊ぶことができない赤ちゃんが参加しやすいよう、雨の日でも実施することができるようランチルームを使用しています。

親子で参加していただき、わらべ歌を歌ったり、絵本の読み聞かせをしたり、保育園のオモチャで遊んだり、時には在園児さんも一緒に混ざり、楽しい時間を過ごしています。

お母さん同士の交わりや、育児相談の場にもなっているようで、「保育園ってどんな所なのかなあ」と気軽に参加していただけたらいいなと願っています。

昨年4月に開園して2年目となり、トライやるウィークの受け入れや、地元の高校生との交流、隣接する施設との交流等少しずつ地域との交わりも増えています。

地域に根ざした保育園として、これからも神様の守りの中、歩んでいきたいと思っています。

保育園の様子、Yわいタイム、園庭開放についての詳細等は保育園のホームページをご覧ください。

西宮つとがわYMCA保育園:

<http://www.kobeymca.org/tsutogawahoikuen>



かけがえのない いのちと平和 ～YMCA国際協力募金～

今年も秋から冬にかけてYMCA国際協力募金の強化月間が始まりました。

YMCA国際協力募金は、世界119の国と地域に広がるYMCAのネットワークを通じて、すべての人々が国・民族・宗教の違いを超え、平和にいきいきと暮らすことができる世界を創りだすための国際協力・国際奉仕活動に用いられています。



「アフガニスタン難民支援」(パキスタン)

YMCAが開設した小学校で学ぶ子どもたち

YMCAでは日々の諸活動とおとして、YMCAの願いを実現するために、人々の豊かな成長を願い、地域に根ざした様々な活動を行っています。神戸YMCAでも「すべてのいのちが光り輝くように」と願い、とりわけ子どもや若者が未来に夢や希望をもち全人的に成長することを目的として「人とのいのちを育む」活動を展開しています。

私たちは国内外の平和が脅かされていることを、テレビや新聞などの報道から、また世界のYMCAネットワークから学びます。貧困・災害・紛争など、今もなお困難な生活を強いられている人たちがひとりひとりが安心して暮らせる平和な社会を、私たちはどのように創ることができるのでしょうか。世界を見つめ、地域で活動するYMCAは、その地域にいる人たちとともに一緒に考え、平和に繋がる活動を行っていきたくと考えています。

神戸YMCA国際協力募金全体として次のような目的のために用いられています。

2013年度 募金目標520万円

拠出予定 (東日本大震災支援募金は含まれません)

- ◎アジアの農村支援・青少年育成のため 180万円
- ◎アフガン・パレスチナ難民支援 12万円
- ◎海外からの日本語学習者支援 24万円
- ◎国内外の国際分野における指導者育成 158万円
- ◎国内外の災害緊急支援 60万円
- ◎エイズ・プロジェクト 5万円
- ◎日本YMCA同盟拠出金・事務局経費 81万円



第15回タイ・ワークキャンプチャイルドケアセンター。今も大切に使用されています。(メーホンソン県メーハン村)

どうぞ今年もYMCA国際協力募金にご理解とご協力をお願い申し上げます。

YMCAの願い

- YMCAでは活動を通して次のことを学びます。
- 「自分のいのちとみんなのいのちを大切にすること」
- 「家族、地域のひとりとして責任があること」
- 「世界と地球を見つめ、考え、行動すること」
- 「ボランティア精神とリーダーシップを身につけること」
- 「すこやかな心と身体を育むこと」

YMCAでは、これらを実現するために「思いやり」「誠実さ」「尊敬心」「責任感」をすべての場面で大切にしています。

ソナタ 奏鳴曲 No.60



総主事 水野雄二

もじゅん 矛盾

どのような矛で突いても貫けない盾とどのような盾でも突き破る矛を売る商人がいて、その矛でその盾を突いたらどうなる？と客に問われて、商人は返答に困ったという有名な話が中国の故事にあります。「矛盾」という言葉の謂れとされています。

近代でも同様の話はあって、第1次世界大戦以来、どんな砲弾にも貫通されない戦車といかなる戦車も破壊するミサイルの開発競争がありました。現在でもレーザーに捕捉されないことを誇るステルス戦闘機とあらゆるステルスも感知するレーザーの開発合戦があり、「矛盾」解決のためには、どのような物にも勝る優れもの、しかもそれは大概、兵器の進化を生み出さなければなりません。絶対的な「優」を得ないと存在価値を失うからです。

私たち人間も矛盾に満ちた存在であるように、YMCAもまた矛盾を抱えた団体です。イエス・キリストのミッションに向かう「求心性」と広がりを求める運動体としての「遠心性」は時に矛盾を起こしますし、YMCAは事業か運動かの論議は長い間、繰り返されているテーマです。YMCAに内包する多くの矛盾が皆様を困惑させる場面もあるかもしれません。YMCAって、どっち？ YMCAって、あいまい？と。

9月にタイ・チェンマイYMCAを訪ねました。国民の95%が熱心な信徒である国におけるYMCA運動に深い関心がありましたが、見事なまでに地域と調和して、教育・福祉・奉仕の業においてタイの人々に多大な貢献をされていました。その活動にはきつと多くの矛盾もあるでしょうが、それを包み込む懐の深さをもった働きのように感じられました。矛盾を解決するために力づくで一方を凌駕する考えに立つのではなく、矛と盾お互いがその存在を認めつつ両極の融和をもって歩むことが一つの平和ではないかと「微笑みの国」で教えられました。

感謝してご報告させていただきます。

感謝・寄付

寄付 本城和夫

YMCAセミナー2013
「沢知恵チャペルコンサート」寄付 (10/7現在)
清水泰人、森 愛子、原真和 (順不同・敬称略)



チェンマイYMCAと神戸YMCAの皆さんとともに

(四本健二/第1回キャンパー)

神戸YMCAがチェンマイYMCAとともに実施してきたタイ・ワークキャンプが今年30周年を迎え、現地で記念の交流プログラムが催されました。

1984年に始まったタイ・ワークキャンプは、これまでにチェンマイYMCAが活動する北タイ7県の農村で託児所や学校施設の整備を行ってきました。第6回(1989年)からは兵庫県の教員も「アジア大好き先生」として参加してきたほか、年によっては現地で米国シアトルYMCAのメンバーも合流するなど、キャンパーは延べ900人を上回ります。

今回、タイを訪ねた「ワークキャンプ30周年記念交流プログラム」(9月13日~17日)には、神戸YMCAから中道基夫理事長、水野雄二総主事のほか、ワイズメンズクラブ国際協会西日本区六甲部のメンバーや元キャンパーら23人が参加しました。現地では、チェンマイYMCAのラチャン名誉総主事をはじめとするYMCA関係者のほか、ワークキャンプを行った農村の教員による温かい歓迎を受けて記念の式典と交流の集いを持ち、チェンマイYMCAの活動を視察したほか、かつてのキャンパ地だったメーホンソン県の学校を3校訪問しました。

ところで、この30年の間にタイとワークキャンプをめぐる状況は大きく変化しています。経済成長と近代化によってチェンマイをはじめとする北タイの人々の生活水準は飛躍的に向上しました。その一方で、都市への人口集中、環境破壊といった問題も起こっています。こうした時代の変化の中で、電気も水道もない農村の図書館建設(1984年)から始まったワークキャンプも有機野菜の販売所建設(1995年)、学校でのIT教室の整備(2013年)など新しい現地のニーズに対応しつつ、キャンパーが求めるやりがいと気づきに添えてきました。

「プログラム」の期間中に行われた両YMCAの振り返りと協議の中で、ワークキャンプを継続してゆくことが確認されました。今後、国際協力、教育、奉仕のバランスのとれたYMCAらしいワークキャンプのあり方が検討されようとしています。

| | |
|-----------------|-----------------|
| ウエルネスセンター三宮 | ☎078 (241) 7202 |
| YMCAホームヘルパーの事務所 | ☎078 (241) 7237 |
| ランゲージセンター | ☎078 (241) 7204 |
| 専門学校 | ☎078 (241) 7203 |
| 西宮YMCA | ☎0798 (35) 5987 |
| 三田YMCA | ☎079 (559) 0075 |
| 余島野外活動センター | ☎0879 (62) 2241 |
| 国際・奉仕センター | ☎078 (241) 7204 |
| ウエルネスセンター学園都市 | ☎078 (793) 7401 |



Information

| | |
|---------------|-----------------|
| 西神戸YMCA | ☎078 (793) 7402 |
| 西神戸YMCA | ☎078 (993) 1560 |
| 須磨YMCA | ☎078 (734) 0183 |
| YMCA保育園 | ☎078 (794) 3901 |
| 西宮YMCA保育園 | ☎0798 (35) 5992 |
| 西神戸YMCA保育園 | ☎078 (792) 1011 |
| YMCAちとせ幼稚園 | ☎078 (732) 3542 |
| 西神戸YMCA幼稚園 | ☎078 (997) 7705 |
| 西宮つとがわYMCA保育園 | ☎0798 (26) 1016 |

子どもたちへ。スキーキャンプへ行こう!

スキーというと青い空と一面の銀世界の下で風を切って、雪を蹴散らせて滑るってイメージですよね。確かにそうなんだけど、実は志賀高原や信州はこの時期とっても寒いんです。吹雪の日もあります。まして、初めてスキーをするきみたちにとってたいそうな道具を身につけて…。それで友達でもないほかのキャンパーと4泊も一緒にするなんて…。おまけにリーダーって一体どんな人なんだろう?こんなことばかり書くと行く気がなくなっちゃうよね!

でもね、YMCAのスキーって上手な人ばかりを教えるんじゃなくて初めての子がキャンプ終わりにはグレンデの上から楽しく、コケないで滑ることが中心なんです。ちょっとしんどくなくてもそこには楽しい仲間とリーダーがいます。そう、うまくなることも大切だけど、好きになることはもっと大切!

たとえ天気が悪くてもグループのみんなと熊さんのようになって宿にたどり着く。これも大冒険。そうこうしているうちにグループのみ

んなは仲良しになってゆきます。それでね、リーダーなんだけど、なんか先生とくらべると頼りないよね。でもね、キャンプ中ずーっと君たちと一緒に、寝るときも遊ぶときもずっといっしょ。そうすると引っ込み思案な子、活発な子、運動が好きの子、音楽が好きの子、いろんな子が集まって万華鏡みたいなグループができます。そのグループが集まってキャンプというそのときだけの小さな宇宙ができます。そのなかで、いろんな場面で一人ひとりが輝くのです。これを読んでくれた皆さんがキャンプに来てくれるとリーダーはとっても嬉しいです。



(西宮YMCA館長 宗行孝之介)

世界YMCA/YWCA 合同祈禱週のご案内

2013年11月10日(日)~16日(土)
Be the Change~神の求める変革となる

世界YMCAと世界YWCAは、毎年11月の第2週目の日曜日を起点とする1週間を合同祈禱週とし、1904年以来毎年、共に祈りを守ってきました。この一週間は、YMCA-YWCA運動が、よりよい世界を実現するための基盤となる魂のビジョンを再確認するための一週間です。様々な課題に覆われる今の社会を変革するのは私たち自身であり、私たちが視点を変えることで解決の道筋が見えてくるはずなんです。

ともに祈り、希望を見出す時になればと願っています。



第55回 神戸市民クリスマス

12月20日(金)

会場: 日本キリスト教団 神戸栄光教会

I. キャロリング

教会や街角でクリスマスキャロルを歌い会場へ
(北野コース) 17:00 北野町広場集合(風見鶏の館前)
(元町コース) 17:00 大丸神戸店前集合(元町側入口の北)

II. こどもプログラム

17:30~ お話・クラフトなど

III. ほっとタイム

18:00~ 温かい飲み物とスナックなど

IV. 祈りと祝福のとき

19:30~ クリスマスメッセージ・クリスマス曲の合唱など

V. 青年のつどい

20:30~ クリスマスパティー

お問い合わせ

神戸市民クリスマス委員会
TEL 078-241-7201 (神戸YMCA内)

DING DONG RINGERS HANDBELL CONCERT

日時: 2013年11月30日(土)

開演: 午後6:00開演

場所: 神戸芸術センター 2F

[シヨパン・ホール]

入場料: ¥1,500



収益は、青少年育成に尽くしている神戸YMCAを支え、神戸YMCAの改築支援として使用します。

ボール運動無料体験教室 9/9(月)

須磨体育館では、9/9(月)に年中・年長・小学1年生を対象に「ボール運動無料体験教室」を行いました。このプログラムは幼少期にボールに対する苦手意識を持たないように、楽しくボールに触れる機会を作ることを目的として、昨年度から須磨体育館で取り組んでいるプログラムです。様々な種類のボールを使って、投げる・受ける・蹴る等の基本的な動作をゲーム感覚で楽しみながら体験できるプログラムを行っています。



家族3世代元気UP Day 10/12(土)

東灘体育館では10/12(土)に家族3世代を対象に「家族3世代 元気UP Day!」を行いました。多子高齢化の状況が続くと予想されている東灘区で、子育て支援の面から見て必要な健康づくりを促進し、3世代の抱える健康の問題に向き合うことを目的としています。今回は灘高校の体育館を会場として行いました。体育館以外の場所に積極的に出ることによって、普段は体育館まで足を運びにくい方に参加していただくことや、より多くの方に体育館を知っていただくという目的を持ってプログラムを行っています。



高等学院

フィッシング!

選択科目のフィッシングの授業を大蔵海岸で行いました。

準備の時や釣りの仕掛けが絡んだときも、生徒たち同士で協力する姿も見られ、一人では上手くいかないことも、仲間の力や知恵を借りたり、貸したりしながら上手くいくように関わら合う生徒たちでした。

たくさん釣れた魚も分け合いましたが、上手くいくこと、いかないこと、釣れた時の喜びも分け合ったフィッシングでした。



県立国際高校との 交流会

10月4日、芦屋の兵庫県立国際高校の文化交流会に、日本語学科生が招待されました。琴の演奏あり、日本のアニメの紹介あり、落語あり、剣道の実演あり、浴衣のファッションショーありと、芸達者たちの盛りだくさんな内容でした。(写真は、落語一席の様子です)



国ボラ10周年フェス!

「平和」をテーマに活動する国際ボランティア・ユース・リーダー会は、今年めでたく活動10周年を迎えることができました! 9月28日には、三宮会館チャペルで「国ボラ10周年フェス!」を開催し、新旧交えたメンバー、そしてワイズメンズクラブメンバーと10年の活動をふり振り返り、これからについて語り合いました。



★★ 個人消息 ★★

【退職】今までのお働きに感謝します。

8月31日付 島谷保奈美さん(西宮YMCA保育園)

【ご逝去】慎んでお悔やみ申し上げます。

9月25日 田中賢治様(公益財団評議員・ウエルネス事業委員・神戸YMCA産業医)